

2000年10月18日発行
〒134-0088 東京都江戸川区西葛西1-15-9
tel. 03-3686-4657 fax. 03-3877-7771
e-mail. hoshiba@ain.co.jp
発行責任者 干場貫二

創刊のことば

院長 干場貫二

暑い夏がようやく終わり、過ごしやすい秋となりましたが、皆様は健やかに過ごしの事と存じ上げます。

「ほしば歯科医院」を西葛西の地で開業し17年の月日が経とうとしています。この間、多くの方に愛され、盛り立てていただいたことを大いに感謝しております。これからも、地域の皆様のために貢献できるようにスタッフ一同地道に努力していく所存です。

さて、わが医院では、患者様とスタッフとの双方向のコミュニケーションを大切にしてきました。今回、その一環として『ほしば歯科医院ニュースレター』を発刊することになりました。皆様のご意見もうかがいながら有意義な紙面作りをしていきたいと考えています。今後とも宜しくお願い致します。

ほしば歯科医院の診療担当医

「ほしば歯科医院」には複数の歯科医師が勤務しており、それぞれの専門性を活かして診療しております。院長の干場（ほしば）は、大学卒業後、武蔵野赤十字病院口腔外科（こうくうげか；歯を抜いたり手術をする科）に勤務した実績を持つ、外科のスペシャリストです。その上、何と云っても地域医療に携わったこの17年間のキャリアは何物にも代えがたい実績でしょう。

代診の山崎は、地域医療一筋に永年勤めてきたベテランです。その優しさ、丁寧な仕事ぶりには定評があります。また、今年より大学を退職した五島（ごとう）が加わりました。大学では歯科補綴科（しかはてつか）に勤務していた、入れ歯、噛み合わせ、顎関節症の専門医です。さらに、歯科矯正の専門医として、ベテランの森が担当しています。その他にも、研修医として大学院生の清水、研修生としては駒林（こまばやし）が研修を行っており、今後の「ほしば歯科医院」の戦力となることでしょう。

このような大所帯ですので、それぞれの専門性を活かし、皆様にとって最適なケアが施されるよう努めています。もし、ご希望の歯科医師がおりました

ら遠慮なくお申し付け下さい。

在宅診療について

介護保険の導入とともに、在宅医療は欠かせないサービスとして認知されるようになりました。これに先立ち、医療法人社団星秀会「ほしば歯科医院」では、以前からご家庭や老人ホームへの訪問歯科診療を行ってきました。ご家族やお知り合いで診療に通えないけれど歯科診療を希望される方がおられるような時は是非お申し付け下さい。遠方でお困りの時でも一度ご相談下さい。

なお、新宿区を中心に活動している医療法人社団星秀会在宅診療部もございますので、そのご近所の方でもご依頼下さい。

ほしば歯科医院の診療を受けるにあたり

「ほしば歯科医院」で歯科の治療を受ける時には次のことを守ってください（強気に）！ 診療に関して疑問があるときはその場でスタッフに声をかけてください。当医院では、『インフォームドコンセント（説明と同意）』を当たり前のこととして実践することを目指していますが、十分なご理解が得られない説明だったり、納得いかない処置方針であればその場で問題を解決しましょう。「お任せします」という方がおられるのも事実ですが、自分の身体のことですから自分が納得して治療を受けるようにしましょう。

また、当医院では「家族カルテ制」を導入していません。基本的にはご家族の方の記録はすべて同じファイルに保管しています。したがって、ご家族の診療についても疑問があるような時でもお聴き頂いて結構です。

残念ながら医療不信というものが社会で広がっています。この解決法は一にも二にもお互いのコミュニケーションであると思います。医療人といっても所詮一人の人間です。患者と歯科医師という関係ではなく、人間同士のお付き合いをしていきたいですね。

患者さん評論

待合室だより

大変失礼ながら「ほしば歯科医院」に来ていただいている患者さんの皆さんの評論をさせていただきます。怒らないで下さいね。

特徴の一つは、大変遠方から来てくださる患者さんがいるということです。江戸川区だけではなく、江東区、葛飾区、浦安市、市川市はいうに及ばず、大田区、新宿区、千葉市、そして横浜市。このような方が「ほしば歯科医院」に来るまでに何件の歯科医院を横切ってきていただいたかと思うと本当に気の引き締まる思いです。

もう一つの特徴は、家族全員で来ていただいている方が多いということです。おそらく日本全国を探しても多くないと思われる「家族カルテ制」を行っている成果が出ているのだと思います。地域医療を実践する歯科医院にとってファミリードクターになるということは本当にうれしいことなのです。

開業 17 年を迎える当医院では、まだ乳歯も生えそわないうちに来院した子が学生になり、社会人になり、そして母親となって子供を連れて来院するということが珍しくありません。したがって、長い間通って頂いている方も多くいるのです。歯科医師冥利につきます。感謝、感謝です。

そして最後に、院長の友達が多いことです！（ひがみ半分）

10 月より、待合室に歯科医師の経歴を掲示することにしました。私たちスタッフは、皆様のカルテにかいてあるプライベートな情報を得ることが出来ますが、皆様からは歯科医師の人となりを知る手段がありません。そこで、簡単ではありますが経歴を掲示することに踏み切りました。その他にも皆様が知りたい情報があればお知らせ下さい。

また、待合室は皆様の空間であると考えており、その役目は少なくありません。置いてある本の種類や椅子のレイアウト等、気になることやアイデアがございましたらいつでもおっしゃってください。

ご意見はこちら

ほしば歯科医院へのご意見、ご感想、その他何でも受け付けております。どのような方法でも結構ですからお気軽におっしゃってください。

電話 03-3686-4657
ファックス 03-3877-7771（院長直通）
e-mail hoshiba@ain.co.jp（院長）
tomogoto@ra2.so-net.ne.jp
（在宅診療部；五島）

診療のお話 その 1

編集後記

麻酔のこと 1

歯科の診療で最も嫌われるものに注射があります。もちろん歯科で注射を使う時はほとんどが麻酔です。麻酔は、歯を抜いたり、歯の神経の処置が必要な時、また、活きた歯を削る時などに用います。さて、この麻酔は局所麻酔（全身麻酔をするわけない）で、歯ぐきの中で浸透していき、注射をした部位の周辺だけ麻酔がかかります。

この麻酔に先立ち、当医院では「表面麻酔」というものを使用しています。これだけでは診療に有効な麻酔とは言えないのですが、注射の痛みが一番嫌な痛みである針を刺したときの痛みを抑える目的で行なうものです。効果が大きいというものでは決してありませんが、少しでも嫌な思いをなくすために使用しています。

「じゃあ麻酔をします。」と言って、何か液体をシュッとかけられたら表面麻酔だと思ってください。ただし欠点は、喉の奥のほうに流れると苦いのです。可能な限り抑えるようにしていますが、苦い思いをした方はごめんなさい。

「ほしば歯科医院ニュースレター」はいかがでしたか？ まだまだ創刊したばかりですので皆様からのお声は含まれていませんが、今後は、皆様の声を中心に構成していきたいと考えています。どしどし投稿してください。例えば、「治療を受けた感想」だとか「街で干場先生を見かけた」だとか「訪問診療を依頼して」、そして「ほしば歯科医院改革論!!」などなど、楽しみにしています。逆に、何か知りたいことがあるようなときもご一報下さい。編集者一同楽しみにしております。（T）

コラム

暴・隠・忘・蝕

暴走、隠蔽、忘却、腐食を防ぐことが効き管理術。トップの暴走に歯止めをかける、隠蔽体質を払拭する、過去の不祥事や失敗を忘れない、腐食を防ぐ。〔日経ビジネスより〕